

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 2022年 2 月 25日

事業所名: キッズアドベンチャー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			緑の部屋で机上以外の運動活動をする際は、机にぶつからない様に配慮している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関先は、雨天時は滑りやすいので、その都度声掛けをしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		令和4年4月より第三者委員会を設置する
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングの中で保護者のニーズを聞き取りアセスメントを行い、計画書に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達評価の中で、Jmapや遠城寺発達評価を用いている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			集団療育においてはチームでプログラム立案を行っている個別支援は担当別で計画しているが、専門職の評価に基づく支援プログラムを実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別の時間は決まっているので、平日と休日によって活動を細かく変更することは難しいが、季節の行事に合わせた活動などを取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		集団活動では毎回活動の話し合いを実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			集団活動では行われているが、個別活動では、毎回必ず振り返りは行われていない。その日のうちの振り返りは時間上難しいため、毎月一度振り返りの時間を設けるといふと思われる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校ではないが保護者の方から送迎時間等の確認は行っている。送迎時の対応等も保護者を適して担任等に連絡を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療ケアが必要な利用者が現時点ではいっしやらない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	放課後等デイサービスから障害福祉サービスへ移行した事例がない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域ブロック会議に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・トレーニング研修に職員が参加している。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナ状況により、保護者会等の開催は出来ていない。今後の状況を見て検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的な会報やインスタグラムを発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			契約時に、個人情報同意書にサインを頂いている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉の出ない利用時には、視覚ボードを用いて活動の見通しができるように支援をしている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				防犯訓練まではいかなくとも、対応等の話し合いは行ったほうがよいと思う。玄関に再度マニュアルを張り出したほうがよいと思う。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				令和4年3月に虐待防止に関する研修を実施する。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			身体拘束が必要な利用児の利用が現在ない。該当利用児が利用される場合は計画書に記載していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		食事の提供を行っていない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット事例やインシデント・アクシデントがあった場合、話し合いを行っている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)